



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 180H19

エポニックス#30下塗HB

1. 塗料名 エポキシ樹脂塗料下塗A、B
2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
3. 特徴
1) エアレス塗装時の作業性にすぐれ、ミストコート及び厚塗り塗装が可能である。
2) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。
3) ジンクリッチペイント及び中塗塗料との層間付着性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kg セット(主剤 16.0kg、硬化剤 4.0kg)				
色相	さび色、赤さび色、グレー				
密度 (23℃)	塗料	1.36 (グレー)			
	揮発分	0.86			
加熱残分	68% (グレー)				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1時間	45分	30分
	硬化*	36時間	24時間	18時間	12時間
標準膜厚	120 μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

*歩行及び膜厚測定可能な目安となる時間を示す。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整*	-			
調合法	主剤 80部、硬化剤 20部 (重量比)			
可使用時間*	5℃	10℃	20℃	30℃
	5時間以内	8時間以内	5時間以内	3時間以内
温度・湿度制限*	気温：5℃以下、湿度：85RH%以上			
使用シンナー	エポニックス橋梁用シンナー及び同夏型			
塗装法	塗装方法*	エアレス塗装		エアレス塗装 (ミストコートの場合)
	希釈率	20%以下*		35~45%(30~60%)*
	標準使用量*	540g/m ²		160g/m ²
	目標膜厚*	120 μm		-
	ウェット管理膜厚	250 μm		(75 μm)
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上		2次圧 12MPa (120kg/cm ²) 以上	
	フュー No.163T-519~621		フュー No.163T-415~615	
塗装間隔* (20℃)	最小	1日		
	最大	10日		

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- 希釈には必ずエポニックス橋梁用シンナー及び同夏型を使用する。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックス橋梁用シンナー及び同夏型で十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	-	-

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。